

新河岸川流域水循環マスタープランの動向



【新河岸川流域水循環マスタープラン検討の経緯】

- ・新河岸川流域では、都市化の拡大に伴い、水環境に対して様々な問題が指摘されるようになり、流域単位で健全な水循環を構築する必要が高まってきています。
- ・パイロットプランとして、柳瀬川流域において水循環マスタープランやアクションプランが策定され、新河岸川流域へ展開する必要があります。
- ・水循環基本法の策定など、社会情勢としても健全な水循環を求める声が高まってきています。

【新河岸川流域水循環マスタープランの目指すところ】

各種会議等を設置し、行政・市民・学識者が一体となって、新河岸川流域の目指すべき将来像を明確にしたうえで、河川や流域において、設定した将来像を達成できるような取り組み体系の構築を目指します。

また、新河岸川流域水循環マスタープランは、平成27年7月に閣議決定された水循環基本計画の内容に加えて、新河岸川流域整備計画や各河川の河川整備計画の内容を含めた、流域の総合的な計画に位置付けることを目指します。

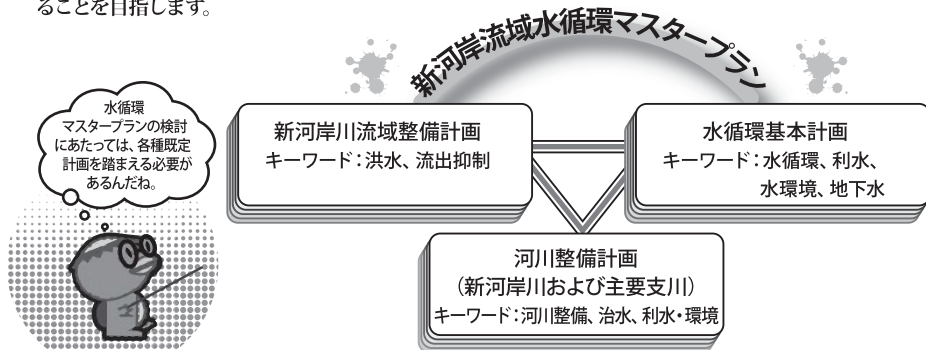


図 新河岸川流域水循環マスタープランの位置づけ

事務局だより

第3、第4回連絡会が開催されました

第3、4回新河岸川流域川づくり連絡会が、それぞれ11月9日(月)、2月12日(金)に開催されました。第3回では、12月に開催した「第11回川でつながる発表会」の交流会企画や現地見学会のコースについて協議しました。

また、勉強会では、法政大学より、「水の自分誌から流域の水環境誌へ」と題した講演があり、参加者と意見交換を行いました。第4回では、今年度の連絡会活動のとりまとめ、次年度に向けた方針を協議しました。



第3回連絡会のようす

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回程度開催します。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

里川

SATO-GAWA

VOL. 79

発行 新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所 東京都北区志茂5-41-1 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
発行日 平成28年(2016) 3月24日



切り絵 毛利将範

目次

- P2~3 第11回川でつながる発表会開催報告
 - P4 連載:新河岸川流域マスタープランの動向
 - P5 特集:宝探し!
- 入曾の地域・資源を掘りおこそう!

木々の芽吹きに春を感じるこの頃、日増しに暖かさも感じられるようになり、外に出て川に関係する歴史巡りなんていかがでしょうか。
今号では、12月に狭山市入曾公民館で開催した第11回川でつながる発表会の開催報告を掲載します。連載では、新河岸川流域水循環マスタープランの動向と題して、3月12日に開催された第1回検討委員会における協議事項を紹介いたします。
特集では、狭山市入曾駅周辺の水循環再生、総合治水対策に資する地域資源を紹介いたします。



第 11 回川でつながる発表会の開催報告！！

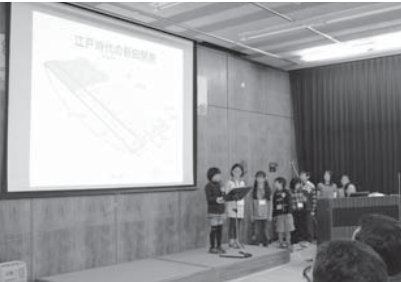
12月13日（日）に狭山市入曽公民館で開催された「川でつながる発表会」は今回で11回目となります。
各参加団体が行った新河岸川流域の川や自然に関する観察結果や研究成果の発表は、今年も力作ぞろいで、来場者は熱心に耳を傾けていました。

■当日プログラム

時 間		内 容	
10：30	受付		
10：45	開会 挨拶	午前の部（現地見学会）開会に先立ち、荒川下流河川事務所調査課長より「みなさまのおかげで 11 回目を迎えることができました。本日は、一日楽しんでいただきたいと思います。」という挨拶がありました。	
10：50	現地見学会 	不老川流域川づくり市民の会の方による案内のもと、用水路、井戸、神社等、不老川における水循環の歴史に関する現地見学会を行いました。道中で、県の方より還流事業、市の方より入曽調節池の概要について説明がありました。	
13:00	挨拶		午後の部（発表会・交流会）の開会に先立ち、不老川流域川づくり市民の会アドバイザーより、不老川では過去に幾度も洪水が発生したことがあり、当時は治水が主なテーマであり、今後においては、水環境改善に関する活動が活発になれば嬉しいとの挨拶がありました。
	発表会 発表（前半） コメント 質問	発表会（前半）は狭山市立御狩場小学校より「とび出せ！御狩場探検隊！」、明法中学・高等学校からは「明法科学部の水質調査」の発表がありました。	
13:45	発表会 発表（後半） コメント 質問	発表会（後半）は法政大学水文地理学研究室より新河岸川流域を対象とした水質に関する研究、早稲田大学理工学部より水循環に関する基礎的知識の発表がありました。	
14:25	交流会	クイズラリー・パネルセッション	新河岸川流域川づくり連絡会事務局では、これまでの 10 回の発表会をふりかえる写真展やこれからの水循環再生に向けて取り組みたいことを考える企画を実施しました。また会場内には、流域学校や川づくり団体による取り組みをまとめた力作ぞろいのパネル展示がありました。さらに、参加いただいた方々により水循環・総合治水について理解していただく企画として、狭山市道路雨水課による「水循環授業」や事務局による「雨水浸透実験」が行われました。今回の発表会では、法政大学水文地理学研究室と事務局の合同で、水との関わりの歴史を繋ぐ企画を実施し、多くの方にご参加いただき、賑わっておりました。
15：25		クイズ答え合わせ / 表彰状授与 / 総括	荒川下流河川事務所長より、各発表校の代表者へ表彰状が授与されました。表彰状授与の際は、少々緊張気味の顔つきも受け取り後はみんなとても満足そうでした。最後に、新河岸川水系水環境連絡会より、「世代を越えて、つながっていければ川が元気になる」という挨拶がありました。
16：00	閉会	恒例の記念撮影は、学校や世代を越えてつながる一体感を感じさせる一コマでした。発表会にご参加・ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。	
	記念撮影		

1 狭山市立御狩場小学校 …… とび出せ！御狩場探検隊！

狭山市立御狩場小学校からは、社会科学習にて学んだ、水の使われ方、不老川の歴史についての発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『1学期の社会科学習では、“わたしたちのくらしの中で、水はどのようにつかわれているか”、水の流れをテーマに授業時間内で調べものをし、埼玉県内にある“川の博物館”を見学し、最終的にはテーマを決めて壁新聞を作成しました。“第1回全国小学生「わたしたちのくらしと水」壁新聞コンテスト”で努力賞を受賞しました。2学期の社会科学習では、歴史をテーマに活動を行いました。不老川流域川づくり市民の会の方を招き、不老川に係る昔のいい伝えや、水が流れていないことによって、どんな問題が発生するかを学びました。また、むかし不老川は日本一汚い川でしたが、現在は魚がすめる水環境に改善されたことを教わりました。人から教えてもらうだけでなく、実際に見に行かなければわからないこともあるので、七曲井、山王小学校から見える水野の畑・生活用水路の跡等を見学しました。社会科学習を通して、不老川についてもっと知りたいと思い、不老川以外の川もきれいしようと思いました。また、御狩場や水野地区の歴史について知れてうれしかったです。』発表の最後に、4年1組のみんなで歌った“不老川のうた”のテープが流されました。



2 明法中学・高等学校 …… 明法科学部の活動（環境を考えた科学とものづくり）

明法中学・高等学校からは、“科学部の活動”と“明法科学部の水質調査”についての発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『まずは、6月に実施されている全国水質一斉調査に参加し、野火止用水を担当しています。また、一斉調査の時だけでなく、科学部の活動として、毎週土曜日に、水質調査を実施しています。水質調査の報告の前に、科学部の活動も知ってほしいということで、科学部の活動としてソーラーバイク・空気で膨らませるエアードーム式のプラネタリウムの制作や、富士見文化センターや所沢市役所で青色LEDのイルミネーションを展示しています。次に、空堀川と水質調査を紹介します。空堀川は、全長15km、流域面積26.8km²になります。COD（化学的酸素要求量）、pH（水素イオン濃度）、NO₂（硝酸イオン濃度）、NH₄（アンモニア濃度）の測定結果から、空堀川の水質は非常によいことが分かりました。また、空堀川の水質調査については今後も継続していきたいと思っています。』



3 法政大学水文地理学研究室 …… 身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性（3）

法政大学水文地理学研究室からは、“身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性（4）”と題し、新河岸川流域の水質についての発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『2013年6月2日、2014年6月8日、2015年6月7日に行われた“身近な水環境の全国一斉調査”と連携し、採取サンプルを提供していただき、分析結果を取りまとめました。EC（電気伝導度）、COD（化学的酸素要求量）、TOC（全有機炭素）、pH（水素イオン濃度）の観点から指標結果をマップ上に示し、流域ごとに水質を把握しました。また、各指標との相関について分析し、相関性について考察しました。また、調査に与える降雨や気温の影響として、天候の影響を確かめる自記録計の結果や水温とECの時間的変化を分析した結果、雨によるECの低下がわかりました。最後に新河岸川流域の地域特性や水質を正確に把握するためには、より多くの地点におけるデータが必要となるため、市民の方と連携をしていきたいと思います。』



4 早稲田大学理工学部 …… 水循環に関する基礎的知識

早稲田大学理工学部からは、“市民で守ろう、街の緑と水 ところざわ倶楽部地域の自然グループ&グリーンフォレストネットワーク所沢との活動”と題し、水循環における森林の役割について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『狭山市や所沢市にある武蔵野台地の概要として、地下水位が低く水が得にくい地形でした。そのような地域特性の中で所沢では、約320年前に土地が開墾され、人と林の関係ができました。林ができることで、“緑のダム”の役割を果たし、降った雨が林で蓄えられます。緑のダムとしての機能をより正確に把握するために、早稲田大学が、これまで水田として利用されていた土地を1980年に買い取り、湿地再生に係る実験をしてきました。その結果、降った雨のおよそ9割は、地下水として蓄えられることがわかりました。これらのことから、水と緑を守るために、林と川の手入れをすること大切と言えます。』





今号では、狭山市入曽駅周辺の不老川沿いにある水循環再生や総合治水対策等の役割を担っている場所を紹介します。

水循環再生とは、海が熱せられ、雲ができ、雨が降り、川を流れ、人が利用し、また川を流れ海に戻るという一連の流れが、健全な状態に戻ることをいいます。

総合治水対策とは、その土地に住んでいる人に対して、適正な量の水を地中に浸みこませたり一時的に貯えたりすることができるような土地利用や施設整備を行うことをいいます。

① 入曽用水



入曽用水は、むかし、七曲井が飲み水として使われてきましたが、人口が増えたことに伴い、井戸だけでは足りなかったので不老川から水をひいたと言われています。台地での畑作地等にも使われ親しまれていたそうです。地域の人々は、不老川を「大川」と呼ぶのに対し、入曽用水は「小川」と呼ばれていました。

② 還流水※流出口



不老川は、1980年代前半に、多くの住宅が建てられるなどの都市化が進み、家庭で使った水などの都市排水が流れ込んだことで、全国有数の汚れた川として知られるようになってしまいました。そのため、県は、1986年に不老川浄化施設を設置し、水質を良くするための実験等を通してこの問題に対して取り組んできました。1998年からは、不老川の下流にある下水処理施設できれいにした水を送る事業を行っています。

※還流水とは、高度処理できれいにした水を川の上流部までポンプ等で送り、川を維持するために使われる水のことです。
ここでは、新河岸川上流水循環センターできれいにした水を不老川の上流部までポンプで送っています。

③ 入曽多目的広場(調節池)



入曽多目的広場(調節池)は、不老川の治水対策の一つとして、1998年につくられました。短い時間に大雨が降り、不老川の水量が増えた場合には、川から水を流し込み、一時的

に水を貯え、洪水を防ぐ役割を果たします。最近では2015年7月16日の大雨のときに使われました。普段は、屋外運動施設として使われています。

④ 七曲井



七曲井は、平安時代中期につくられた「延喜式(えんぎしき)」巻50・雑式によると、9世紀後半から10世紀前半にかけて武蔵国府の手によって掘られたと考えられています。すり鉢部の上部直径が18～26m、底部直径が5m、深さが11.5mの大きさで、水を得るのが難しい台地では、たて掘り井戸の技術が発達する近世まで、写真のように広口からだんだん狭くなっていく形(ろうと状)に掘り下げて井戸を掘ったと言われています。

⑤ 入間野神社(入曽の獅子舞)



入間野神社は、1191年につくられました。農業用水を雨水に頼るしかなかったため、当時、井戸の神・水の神がまつられたと言われています。この地域では1758年以前から、干ばつ時のお祈りや病気が流行した時に「入曽の獅子舞」が、各戸を回ったと伝えられており、現在は毎年10月に納められています。

